平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名　株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 吉川 恭史　TEL 0568-33-4388

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日　配当支払開始予定日　平成24年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	119,940	0.7	7,526	△10.3	7,421	△11.3	3,228	△22.5
24年3月期第2四半期	119,072	4.3	8,391	109.9	8,370	90.0	4,164	184.6

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　2,494百万円　(△42.2%)　24年3月期第2四半期　4,312百万円　(194.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5,950.90	5,943.23
24年3月期第2四半期	7,658.31	7,642.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	119,601	54,849	43.9
24年3月期	128,075	53,425	39.4

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　52,541百万円　24年3月期　50,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1,500.00	―	1,500.00	3,000.00
25年3月期	―	1,500.00			
25年3月期(予想)			―	1,500.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	2.6	18,500	1.1	18,300	11.2	9,000	31.5	16,588.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、添付資料3ページ「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	543,828 株	24年3月期	543,828 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,955 株	24年3月期	0 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	542,555 株	24年3月期2Q	543,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により景気悪化から回復しつつあるものの、欧州債務危機に伴う信用不安の広がりや新興国経済の一段の減速などにより、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましてはポケットマネーで楽しめるレジャーをお届けするため、「ゲオショップ」を35店増加し、店舗網の構築とシェアの向上に努め、当第２四半期連結累計期間においても引き続き積極的な出店を実施した結果、グループ店舗施設数は44店舗増加し1,512店となりました。

また、リユース業界におきましては、環境問題意識の高まりを受け市場規模が順調に拡大しており、当社の店作りにおいても、リユースに触れることの少なかった年齢層も利用しやすい店作りを行い、「セカンドストリート」「ジャンブルストア」を13店増加いたしました。店舗網の拡大により幅広いお客様にリユースを体験して頂くことで、リユース市場規模拡大に努めるとともに、更なるシェアの拡大を目指してまいります。

その結果、当第２四半期連結累計期間の連結業績は、売上高119,940百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益7,526百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益7,421百万円（前年同期比11.3%減）、四半期純利益3,228百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

以下は、当第２四半期連結会計期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。
（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	ＦＣ店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,276 (+47)	107 (+1)	138 (△4)	1,512 (+44)
小売サービス店舗	1,222 (+48)	107 (+1)	138 (△4)	1,458 (+45)
ゲオショップ	1,018 (+37)	107 (+1)	98 (△3)	1,223 (+35)
セカンドストリート ジャンブルストア	295 (+14)		41 (△1)	336 (+13)
携帯電話販売店等	37 (△1)			37 (△1)
アミューズメント施設	54 (△1)			54 (△1)
ゲオディノス	21 (0)			21 (0)
ウェアハウス	10 (△1)			10 (△1)
ゲオフィットネス等	15 (0)			15 (0)
ゲオカフェ・飲食店	8 (0)			8 (0)

（注）１．当第２四半期連結累計期間より、店舗数は屋号ごとにカウントしております。
２．同一施設内において複数の屋号で営業している場合、小売サービス店舗としては併せて１店舗とカウントしております。
３．同一施設内において直営店と代理店・ＦＣ店を複数の屋号で営業している場合、屋号ごとにカウントしておりますが、小売サービス店舗合計としては併せて１店舗とカウントしております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期末における総資産は119,601百万円となり、前連結会計年度末比8,474百万円の減少となりました。

なお、純資産は54,849百万円となり、自己資本比率は43.9％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,680百万円減少し、26,509百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は1,294百万円（前年同四半期は11,570百万円の増加）となりました。

これは、法人税等の支払額が7,730百万円とレンタル用資産取得による支出が6,874百万円ありましたが、レンタル用資産減価償却費が7,366百万円と税金等調整前四半期純利益が5,947百万円、減価償却費が2,658百万円ありましたことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は1,991百万円(前年同四半期は2,674百万円の減少)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が2,178百万円ありましたことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は2,982百万円(前年同四半期は6,250百万円の減少)となりました。

これは、短期借入れによる収入が6,600百万円と長期借入れによる収入が5,050百万円ありましたが、短期借入金の返済による支出が6,700百万円と長期借入金の返済による支出が5,699百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が1,056百万円ありましたことが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年５月10日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,072	24,256
売掛金	5,693	4,780
商品	15,394	15,182
その他	7,468	7,287
貸倒引当金	△389	△373
流動資産合計	56,240	51,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,733	15,531
その他（純額）	25,798	24,461
有形固定資産合計	42,532	39,993
無形固定資産		
のれん	3,057	2,453
その他	1,161	1,136
無形固定資産合計	4,219	3,589
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,037	15,246
その他	13,124	12,641
貸倒引当金	△3,079	△3,004
投資その他の資産合計	25,082	24,883
固定資産合計	71,834	68,467
資産合計	128,075	119,601
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,003	9,194
1年内返済予定の長期借入金	10,623	11,330
未払法人税等	7,846	3,413
引当金	1,338	1,134
その他	12,076	11,446
流動負債合計	43,889	36,519
固定負債		
社債	2,685	2,038
長期借入金	18,538	17,182
引当金	249	252
資産除去債務	3,318	3,429
その他	5,967	5,329
固定負債合計	30,759	28,232
負債合計	74,649	64,752

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	6,078	6,078
利益剰余金	35,546	37,959
自己株式	－	△256
株主資本合計	50,229	52,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	155
その他の包括利益累計額合計	178	155
新株予約権	159	160
少数株主持分	2,858	2,147
純資産合計	53,425	54,849
負債純資産合計	128,075	119,601

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	119,072	119,940
売上原価	65,517	66,015
売上総利益	53,554	53,925
販売費及び一般管理費	45,163	46,398
営業利益	8,391	7,526
営業外収益		
不動産賃貸料	409	443
その他	486	450
営業外収益合計	896	893
営業外費用		
支払利息	337	258
固定資産除却損	66	379
不動産賃貸費用	249	243
その他	264	117
営業外費用合計	917	998
経常利益	8,370	7,421
特別損失		
減損損失	316	1,388
その他	－	85
特別損失合計	316	1,474
税金等調整前四半期純利益	8,054	5,947
法人税、住民税及び事業税	3,998	3,463
法人税等調整額	△205	△38
法人税等合計	3,793	3,425
少数株主損益調整前四半期純利益	4,260	2,521
少数株主利益又は少数株主損失（△）	95	△706
四半期純利益	4,164	3,228

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,260	2,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	△27
その他の包括利益合計	51	△27
四半期包括利益	4,312	2,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,211	3,205
少数株主に係る四半期包括利益	100	△711

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,054	5,947
減価償却費	2,568	2,658
レンタル用資産減価償却費	7,399	7,366
減損損失	316	1,388
受取利息及び受取配当金	△94	△84
支払利息	337	258
売上債権の増減額（△は増加）	1,369	913
レンタル用資産取得による支出	△8,362	△6,874
仕入債務の増減額（△は減少）	336	△2,809
その他	531	446
小計	12,456	9,211
利息及び配当金の受取額	90	76
利息の支払額	△341	△263
法人税等の支払額	△634	△7,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,570	1,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,134	△2,178
その他	△539	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,674	△1,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,600	6,600
短期借入金の返済による支出	△2,113	△6,700
長期借入れによる収入	1,150	5,050
長期借入金の返済による支出	△6,397	△5,699
社債の発行による収入	258	633
社債の償還による支出	△687	△735
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,301	△1,056
自己株式の取得による支出	－	△256
配当金の支払額	△759	△818
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,250	△2,982
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,645	△3,680
現金及び現金同等物の期首残高	24,347	30,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,992	26,509

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	111,675	6,276	117,951	1,120	119,072	－	119,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	0	12	20	33	△33	－
計	111,687	6,276	117,963	1,141	119,105	△33	119,072
セグメント利益又はセグメント損失（△）	8,961	500	9,461	△23	9,438	△1,046	8,391

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,046百万円には、セグメント間取引消去△33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	112,780	6,042	118,823	1,117	119,940	－	119,940
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	0	19	18	37	△37	－
計	112,800	6,042	118,842	1,135	119,978	△37	119,940
セグメント利益又はセグメント損失（△）	8,514	△113	8,401	0	8,401	△874	7,526

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△874百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△836百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント情報に与える影響は軽微であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

営業活動による損益が継続してマイナスとなる店舗については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「小売サービス」で132百万円、「アミューズメント」で1,255百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。